

## 佛教大学鷹陵同窓会 会長祝辞

京都でも暖かな春の気配が感じられる本日、ここに学部を卒業された153名の方々、大学院を修了された38名の皆様、誠におめでとうございます。

晴れてこの日を迎えられることを、鷹陵同窓会を代表し心よりお祝いを申し上げます。卒業・修了を迎えられる迄の長い間、皆様の学業と研究活動を支えてこられた学長先生ならびに諸先生方のご指導に対し、改めて敬意を表したいと思います。

通信教育で卒業をすることは容易な事ではなく、自分で計画を立て、自らを律し、己を励まさなければなりません。入学以来今日まで、様々な学習環境の障害も多く、勉学の最中に発生した新型コロナウイルス感染症の為、今も続くマスク生活は人々の笑顔や表情までも奪ってしまいました。又、勉学の最終仕上げの時期、能登半島を襲った地震等、心穏やかでない日々も多かった事とお察しいたします。それらを乗り越えて、本日、ここに晴れの授与式を迎えられ、証書を手にした皆様本当におめでとうございます。

私達が学んだ佛教大学通信教育の精神は、法然上人が遠く離れた地方に住む弟子や信徒に対して教えを伝えた、御消息と云う手紙にあると伺っております。この精神を受け継ぐ、伝統有る佛教大学の卒業生であることは、私たちにとって大きな誇りであります。

本日、皆様が手にした卒業証書は、学業成就の証であると同時に、そこに込められた法然上人の精神をもって、私たちと大学を繋ぐ絆となります。

私達の鷹陵同窓会は、昭和32年に第一期生の有志により立ち上げられ、日本国内に支部を置き、現在2万人以上の同窓会員を擁し、地域を跨いで活動も行われています。

同窓会とは不思議なもので、佛教大学の卒業生というだけで旧知のような仲間になってしまいます。在学中に知り合った先輩や後輩は、これから先も助け合いながら人生を歩んでいく、大切な人間関係となります。

自分自身、先輩や多くの仲間との交流によって、思わぬ人脈が広がり自身の成長に大いに役立っていると感じており、卒業されました皆様のご参加を得て、さらに力強い活動ができるものと期待しております。

最後になりましたが、皆様の今後のご活躍ならびにご健勝、ご多幸を祈念しお祝いのご挨拶とさせていただきます。

令和6年3月25日 佛教大学鷹陵同窓会 会長 河田 茂美